

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	小林和弘
	全体計画			経費区分	-	内線	3152
事務事業名	4054 財産管理事業						
所 属	050300 総務部・財政課						
施 策	07024700 長期的展望に立った財政運営						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	020105 総務費・総務管理費・財産管理費					
	事業	010000 財産管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
市民サービスの低下を招かぬよう公共施設の適切な維持管理を行うとともに、普通財産の有効活用を図る。				普通財産（市営住宅跡地など）を積極的に処分する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
普通財産の売払い 1件 売却価格 624,489円 土地貸付 年間収入額 6,853,118円 建物貸付 年間収入額 2,243,383円	土地貸付 年間収入額 6,739,503円 建物貸付 年間収入額 2,243,383円
平成24年度 実績	平成25年度 実績
普通財産の売払い 2件 売却価格 12,000,000円 土地貸付 年間収入額 6,499,818円 建物貸付 年間収入額 2,063,120円	普通財産の売払い 4件 売却価格 77,390,000円 土地貸付 年間収入額 6,299,473円 建物貸付 年間収入額 2,063,220円
平成26年度 実績	平成27年度 予定
普通財産の売払い 3件 売却価格 145,661,000円 土地貸付 年間収入額 5,624,456円 建物貸付 年間収入額 2,000,826円	普通財産の売払い 4件 売却価格 56,000,000円 土地貸付 年間収入額 5,009,582円 建物貸付 年間収入額 1,959,674円

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		452,256	21,645
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	41,816	20,198
一般財源		410,440	1,447
人員数(人)	正規職員	1.4	1.4
	嘱託職員	0.0	1.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	9,601.2	9,601.2
	嘱託職員	0.0	2,725.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	9,601.2	12,326.2
市民一人当たりの経費		8.8	0.6
総額		461,857.2	33,971.2

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	359	事務用消耗品 市有施設修繕料
13節 委託費	221	市有財産維持管理委託料(草刈、樹木伐採等)
15節 工事請負費	2,199	建物解体等工事費 普通財産安全管理等工事費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	449,477	市有財産加入保険料 基金(財政調整基金、公共施設等整備基金など)積立金等

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	1,831	市有財産維持管理委託料（草刈、樹木伐採等） 登記委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	19,814	市有財産加入保険料 基金（財政調整基金、公共施設等整備基金など）積立金等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	公有財産の適切な管理は、必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	不要な活用見込みのない財産(市有地)の売却を進め、市財政に寄与することができる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	26年度は、競争入札により売却できたが、引き続き適正な価格で適切に売却を進めていく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

公有財産の維持管理において、活用方法等の確定していない普通財産の一部を引き続き有償貸付をした。活用見込みのない土地については、入札で売却することができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	—
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>引き続き適正な普通財産の管理をしていく必要がある。</p> <p>不要となった普通財産の売払いをを行い、収入の確保に努めていく。</p>			

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	